

10. へき地医療

「へき地医療」の概要

■ 現状と課題

《現状》

- へき地診療所33施設、へき地医療拠点病院 6 病院、民間医療機関からの医師派遣や市町の指定管理者制度によるへき地診療所の運営等、多様な形態により安定的なへき地医療を提供。
- へき地診療所数の減少や無医地区等数の増加。
- 無医地区等・へき地診療所周辺地域住民の高齢化やへき地診療所常勤医師の高齢化が進行。

《課題》

①へき地医療提供体制の堅持

②患者の高齢化に伴い多様化する医療ニーズへの対応

③へき地医療を支える医療従事者の確保

■ 圏域設定

7 圏域：和歌山、那賀、橋本、有田、御坊、田辺、新宮

■ 主な施策の方向

①へき地医療提供体制の堅持

- へき地医療拠点病院の機能強化及び指定の推進（主要 3 事業の実績向上）
- へき地診療所等への移動交通手段の確保（患者輸送車等）
- へき地診療所等への施設整備・医療機器整備支援（補助金活用）
- ドクターヘリの安定的な運航

②患者の高齢化に伴い多様化する医療ニーズへの対応

- 遠隔医療支援システムの利用促進
- オンライン診療など先進的事例の横展開や導入支援
- 歯科医療、口腔ケアの重要性の周知

③へき地医療を支える医療従事者の確保

- 自治医科大学や県立医科大学地域医療枠など医師の養成と適正配置
- へき地など地域医療を支える看護職員の養成及び確保
- へき地医療を支える医療機関で勤務を希望する医師に対し、「青洲医師ネット」を通じ職業紹介

■ 主な数値目標（令和11年度）

①へき地医療拠点病院の指定数
令和 5 年度 6 病院 → 7 病院

②遠隔医療支援システムを利用する
へき地診療所数
令和 4 年度 3 箇所 → 7 箇所

①へき地医療拠点病院の中で主要 3 事業の
年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合
令和 4 年度 100% → 100%（各年度）

③へき地診療所・へき地医療拠点病院等
への医師配置数
令和 5 年度 48人 → 60人

①へき地医療拠点病院の中で必須事業の
実施回数が年間 1 回以上の医療機関の割合
令和 4 年度 100% → 100%（各年度）

数値目標の設定と考え方

(1) ヘき地医療提供体制の堅持

項 目	現 状	目標(令和11年度)	設定の考え方
へき地医療拠点病院の指定数	6病院 (令和5年度)	7病院	無医地区等・へき地診療所が所在する二次医療圏に1か所以上指定
へき地医療拠点病院の中で主要3事業の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合	100% (令和4年度)	100% (各年度)	【国指針※ ⁸ に基づく】 良質かつ適切なへき地医療を提供する体制を構築するため
へき地医療拠点病院の中で必須事業の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合	100% (令和4年度)	100% (各年度)	【国指針※ ⁸ に基づく】 良質かつ適切なへき地医療を提供する体制を構築するため

(2) 患者の高齢化に伴い多様化する医療ニーズへの対応

項 目	現 状	目標(令和11年度)	設定の考え方
遠隔医療支援システムを利用するへき地診療所数	3箇所 (令和4年度)	7箇所	遠隔医療支援システムを設置しているへき地診療所において利用を促進する

(3) ヘき地医療を支える医療従事者の確保

項 目	現 状	目標(令和11年度)	設定の考え方
へき地診療所・へき地医療拠点病院等への医師配置数	48人 (令和5年度)	60人	へき地診療所・へき地医療拠点病院に、自治医科大学・和歌山県立医科大学地域医療枠・近畿大学医学部和歌山県地域枠卒業医師を効果的に配置し、へき地医療を支える